

管内調査・無人トラクターの運行 西脇知事と行き活きトーク 八幡市民マラソン大会 京都女性の健康フェスティバル 京大防災研究所ラボ

たじま新聞

桑ガスタジアムでなでして親善試合 京都ハンナリーズを支援する京都府議会議員連盟 京のやわた企画展「橋本ぶらり散歩」 桑ガ八幡市ホームタウンの日

【プロフィール】昭和47年9月生。●[平成3年]平安高等学校卒業。三菱自動車工業(株)京都製作所入社。同社サッカー部(現・浦和レッズ傘下チーム)に所属。●[平成8年]同社退職。龍谷大学経営学部入学。●[平成19年]衆議院議員公設第一秘書。●[平成27年]八幡市議会議員初当選。●[平成31年]京都府議会議員初当選
【現職】●京都府議会 農工商労働常任委員会委員、新技術を活用した社会創造特別委員会委員。八幡市在住で妻・長男(大学生)・長女(高校生)・次男(中学生)・次女(小学生)の6人家族。

京都府議会議員
田島よしみつ

新型コロナウイルスに負けない！ 第6波への対策や取組

令和3年11月定例会が12月20日に閉会し、11月補正予算などが審議・承認されました。新型コロナウイルスの第6波に向けた対策や、府民の暮らしや経済活動を支援する取組が実行されます。その一部を紹介します。

入院病床を117床増やして855床に！【7億8500万円】 入院待機ステーションでは、抗体カクテル投与も

新型コロナウイルス感染症の第6波に備えて、医療提供体制を強化します。新型コロナウイルスに感染・発症された方を受け入れる病院の数を、117床増やして855床にする予定です。また、島津アリーナ京都に設置する「入院待機ステーション」では、これまでの30床から110床に増床。入院が決まるまでに待機できるだけでなく、抗体カクテル(中和抗体薬)を投与できる臨時医療施設として稼働します。



写真は、イメージです

3回目のワクチン接種 高齢者から順次開始

令和3年11月18日に、新型コロナウイルス感染症のワクチン3万2760回分が京都府に届きました。八幡市では医療従事者の希望者から接種が始まっています。また、65歳以上の高齢者の方で、令和3年8月末までに2回目の接種を終えている方に、接種意向を確認する往復ハガキを郵送。令和4年2月ごろから3回目のワクチン接種が開始できるよう、準備をすすめています。65歳以上で、往復はがきが届いていない場合は、八幡市新型コロナワクチンコールセンター(☎0570-056-786〈毎日午前9時30分から午後4時30分まで〉)へご連絡ください。

きょうと魅力再発見 旅プロジェクトの 利用期間が、令和3年2月末頃まで延長決定 【30億円】

宿泊割引、旅行割引、クーポン券の配布を通じて、京都府内旅行を楽しんでいたが、京都を応援するキャンペーンです。京都府内のホテルや旅館などに宿泊した宿泊代金・旅行代金に応じた金額が補助されます。また旅行事業者を利用した日帰り旅行も補助が出ます。さらに宿泊割引・旅行割引・日帰り旅行

割引の利用者に、対象施設で使える「京都応援クーポン券」がもらえ、きょうと魅力再発見旅プロジェクトに登録した観光施設や土産物店・飲食店等で使えます。利用期間が、令和4年2月末まで延期されましたが、GoToトラベルが再開されると、新規予約・販売が終了の予定です。詳細は専用サイトでご確認ください。



※ワクチンの接種履歴又は検査結果の陰性が確認できない場合は、本事業の対象外となります。



きょうと
魅力再発見
旅プロジェクト

PCR検査、抗原定性検査 が無料に 【40億円】

健康上の理由でワクチン接種できない府民や、12歳未満の府内在住の子どもが、ワクチン・検査パッケージ制度や飲食、イベント、旅行などのために受けるPCR・抗原定性検査の費用を、京都府が支援することになりました。この事業に申請・登録した施設で行う検査が対象になります。施設や事業者は順次、府のホームページで紹介されます。詳細は右記のサイトまで。



【裏面に続きます→】

令和3年度11月補正予算 ※年末年始に実施された事業もあるため、一部を紹介します。

コロナ禍と原材料費等 高騰の影響を受ける 伝統産業支援 【4000万円】

厳しい状況にある伝統産業事業者等の事業継続を図るため、存続が危惧される工程の継続に必要となる生産設備の導入等を支援。

自宅で楽しめる「京の食」 プレミアムフードの追加販売 【1億2000万円】

1万セット分を追加(トータル4万セット)。2万円相当のセット商品を1万円で販売。

新たに障害者を雇用する 中小企業等を支援 【2200万円】

府内中小企業等での障害者雇用を促進。

介護・障害者福祉サービス事業所の 感染症対策支援 【6億4200万円】

施設の消毒等のサービス提供に係る感染防止対策を支援。

原材料費の増大等の影響を 受ける中小企業を支援 【3億円】

省エネ設備や省力化システム導入等を支援。不足する部品の代替品開発や代替技術確立により生産の安定化を図る取組等を支援。

入国制限により影響を受ける 中小企業等を支援 【2000万円】

オミクロン株による入国制限等により、中小企業等の人手不足が深刻化。緊急的な人材確保支援として、「緊急合同企業説明会」を実施。

厳しい状況にある大学生等の学びの 継続を緊急支援 【1億2500万円】

コロナ禍の影響で経済的に余裕のない学生に、原油高騰等による生活への負担を緩和するため5千円を給付。

「食の京都」需要拡大キャンペーン の展開 【1億円】

「食の京都」を掲げた需要拡大イベントを各地で開催。[府内] 道の駅や直売所での大売り出しイベント(想定100箇所)。府内産農林水産物等の大物産展。[首都圏] 京都マルシェ in 東京。



地域活動

男山第二中学校卒業生の井口真由子さんがメンバーのパンフレット・イベントリトリオの演奏が式典に花を添えた



男山第二中学校創立50周年記念式典。緊急事態宣言下のため、在校生は教室からリモート参加。1200名収容の大ホールにステージ8名、客席に約40名の招待者のみ。しかし閉式の際、中学校にいる生徒会長から素晴らしい挨拶がホールに響き渡った。実は前夜、校長先生に生徒の声だけでも届けられないかと無理を言い、それを実現してくださった。先生方の努力と挑戦、生徒会長の堂々とした挨拶に来賓の皆さまも感動され、素晴らしい式典になりました。

京都市伏見区にある伏見港が全国148番目の「みなとオアシス」に登録された記念イベントの一貫で行われた



国交省淀川河川事務所の舟運社会実験に参加。ライフジャケットを着てパドルを持ち、リバーガイドの安全説明を聞いて、伏見区の三栢閘門を出発。八幡の背割堤までの川下りですが、古くから舟運が盛んだった頃を想像しながら、普段は見られない川からの景色を堪能し、改めて京都南部や八幡の魅力を再発見でき、良い体験になりました。

八幡の竹を使った、やさしい灯りの様々なオブジェ。幻想的な灯りの中に入って、とても癒されました



松花堂美術館の交流広場で「竹あかりの夕べ〜星への旅〜」が開催。NPO法人「八幡たけくらぶ」が約1か月半かけて制作された八幡の竹灯籠が置かれ、交流広場が幻想的な空間に。八幡市内の公立幼稚園・保育園の園児が制作した灯籠も一役買っていたとか。2日間1,500人以上が来場され、コロナ禍で無事開催でき、大盛況だったことを嬉しく思います。

日々の活動をブログで報告

田島よしみつ で検索

【ホームページ】<http://tajimayoshimitsu.com>
【ブログ】<http://ameblo.jp/tajima1972>

フェイスブックの
友達申請も歓迎!
お気軽にどうぞ



京都府・子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金 全長887mのうんてい「モンキーチャレンジ」



2021年春に「さくら近隣公園」がリニューアルし、全長887mのうんてい、屋外ステージ、スイング遊具などが整備されました。京都府事業の「子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金」が活用されており、うんていは779点の愛称応募の中から「モンキーチャレンジ」が一般投票で選ばれました。今後も府市協働の事業を進めてまいります。

府政、暮らしのご相談は

京都府議会議員
田島よしみつまで

TEL 075-982-1482

FAX 075-982-1492

〒614-8362 八幡市男山美桜5-29-102 (事務所)

令和3年11月定例会
一般質問
令和3年12月10日



「子どもを虐待から守る条例」で、すべての子どもが生まれ持つ環境に左右されることなく将来に夢や希望を持って成長できるように

【田島祥充府議会議員】

令和元年5月臨時会で設置された「子育て環境の充実に関する特別委員会」で1年間かけて茨城県や静岡県への管外調査、数回にわたる参考人招致、活発な委員間討議を行い、「政策提言・提案」をとりまとめました。その内容は、

- ①市町村、警察、学校等の連携強化、児童相談所の体制強化に取り組み、すべての子どもが虐待から守られ、健やかに育まれる社会の実現を目指すために、児童虐待防止条例（仮称）の策定を検討する。
- ②児童相談所に集中している虐待の通告・相談等に適切に対応するために、窓口機能の強化を図る。
- ③児童福祉施設の臨床心理士・児童指導員が働きやすい環境の整備、職員への精神的ケア、国へ処遇改善要望等、支援の充実を図る、です。

児童虐待の対応は、児童福祉法で行われていましたが、虐待件数は増加し、死亡も後を絶たないため、平成12年に児童虐待防止法が制定され、児童虐待の定義や住民の通告義務等が盛り込まれました。しかし、その後も虐待件数は増加の一途で、虐待防止の法改正が数次にわたりに行われてきました。



自宅療養者への食料など支援助資の提供で、地元の民間の配食サービスなどを利用しては？

【田島祥充府議会議員】

新型コロナウイルス患者の自宅療養者に対し、食料品等の生活必需品の支援について、希望者へ概ね3日で配達されるようですが、自宅に食料がない場合、何も口でできないため改善が必要と考えます。大阪府枚方市では、遅くとも自宅療養開始の翌日から弁当等の配食サービスが行われており、京都府も市町村の協力が得られれば、応も可能と思えますがいかがでしょうか。

【健康福祉部長】

自宅での療養環境の整備は、府民の安心・安全のために大変重要であると考えています。京都府では令和3年1月から京都市内を含めた府内全域の自宅療養者に、健康観察機器とともに食料品など生活支援助資を届け、物資の調達・配送の手配は、保健所からの報告に

と改正児童福祉法が施行され、「しつけ」を名目にした親権者の体罰の禁止、DV対策との連携強化などが盛り込まれたところで。

しかし、虐待件数はとまらず、平成28年度に全国12万2千件余りの児童虐待相談対応件数は、令和2年度に速報値で20万5千件余りと、4年間で8万件も増加。京都府では平成28年15000件余りから令和2年に24000件余りと、4年で9000件以上増加しています。滋賀県大津市で、母親のネグレクトを受けた17歳の少年が6歳の妹を殺害した事件が起きました。また4年前に木津川市の自宅で当時3歳の長男を浴槽に沈めて殺害したとして、先月（11月）の23日に母親が逮捕されました。

虐待から子どもを守り、児童虐待による被害者や加害者を出さないために、9月定例会で「子どもを虐待から守る条例」を制定する動きが出て、大いに期待しています。条例制定は、実効性のある内容にして、かけ声だけの条例ではなく、虐待防止につながるような府独自の内容も盛り込むべきと考えますが、知事の所見をお伺いします。

【西脇知事】

児童虐待防止法が制定され、20年が経過していますが、依然として虐待はなくなり、全国で痛ましい事件が発生しています。私は、これらの事件を非常に重く受けとめ、子どもを虐待から守る対策の二層の強化が必要と、思いを改めて強くしたところです。令和2年度、京都府の児童相談所への虐待通告は、約25000件で、ここ10年間で約5倍、虐待種別では「心理的虐待」が約8倍、「性的虐待」が約5倍となっています。

虐待は子どもの心に深い傷を残し、乳幼児期の「発育の遅れ」、学童期の「不登校」、思春期の「自傷行為」などにつながるなどの研究も進んでいます。すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、

その将来に、夢や希望を持って成長していける京都府づくりを目指すために、虐待防止は喫緊の課題であると考えています。

令和2年10月に「京都府児童虐待防止強化対策検討会」を設置し、関係機関や団体、医師等の専門家、一時保護の経験者などから、虐待の防止に加え、虐待を受けた子どものケア対策などについて、幅広くご意見を伺っているところで。

私は「しつけ」と称する体罰やネグレクトなどの虐待は、いかなる理由があっても許されるものではなく、「子どもを社会全体で守る」という理念の徹底と実践が必要であると考えています。行政、府民、関係機関等の責務と役割を改めて確認し、それぞれの主体が、子どもを虐待から守るための新たな行動を起こすことが必要で、条例制定をその起点としたいと考えています。

- この度、取りまとめた条例の骨子案では、
- 未然防止や早期発見・早期対応として、市町村の母子保健事業との連携強化による妊娠前から子育て期までの切れ目ない支援の充実。
- 「虐待を受けた子どもへの支援」として、心理的ケアによるトラウマ予防、一時保護などを適切に行うための子どもの意向確認。
- 「再発防止対策」として、関係機関等による地域における見守り活動の強化。
- 「自立支援」として、施設入所児童への入所中から退所後までの切れ目のない支援。
- 「支援体制の強化」として、地理や交通事情、人口動向等を踏まえた児童相談所の相談支援体制の確保。

などを掲げており、現場の意見を踏まえ、実効性の高い施策を条例に盛り込みたいと考えています。さらに、京都府独自の取組として、●未然防止・再発防止対策では、京都府が主体となり、展開している子どもの居場所や子ども食堂を活用した見守り活動の強化

●性的虐待へも積極的に対応していくための、専門相談機関である京都性暴力被害者ワンプラットフォーム相談支援センター京都SARAと連携した、きめ細かなケアの実施なども盛り込んでおります。今後は、パブリックコメントを実施し、令和4年2月定例会に条例案を提出していく予定としており、ましてこの条例制定を契機として、子どもを社会全体で見守り育む京都府づくりを、さらに推進してまいりたいと考えております。

基つき、府庁で一括して行っています。自宅療養者が急増した第5波の半ばからは、保健所に食料品などの生活支援助資をストックし、自宅に食料の備えが無いなど直ちに支援が必要な場合や、配送上のトラブルで支援助資が届かない場合に、保健所職員が直接届けます。



通学路の安全対策の内容と状況は？安全で観光対策になる無電柱化の状況は？

【田島祥充府議会議員】

登下校中の児童・生徒が被害にあう事故が続く、通学路の安全確保の整備が最優先で進められる中、通学路の具体的な安全対策の内容をお聞かせください。また、高齢者も安心・安全に歩行でき、観光の観点からも、旧街道などの無電柱化等が必要と考えます。取組状況や今後の計画を教えてください。

通学路の安全対策

【建設交通部長】

京都府では、平成24年の亀岡市の事故を受け、通学路の緊急合同点検を行い、2291箇所対策箇所を抽出。警察、教育委員会、道路管理者で対策を実施し、今年度中にすべてを終える見込みです。事故のあった府道王子並河線は、規制速度の見直し、信号機の設置、道路幅の狭さを13箇所設置しました。また、八幡市の美濃山地区、男山地区に、狭さを2箇所、道路面を盛り上げるランプを6箇所設置し、自治会や関係機関と連携した取組みを進めています。

今年度は、「見守り活動者からの改善要望箇所」、「自動車の速度があがりやすい」などの新たな観点を加えて合同点検を実施し、現時点で1261箇所、要対策箇所を抽出。警察、教育委員会、道路管理者が連携し、警察は交通指導取締りや交通規制など、教育委員会では見守り活動や安全教育など、道路管理者は、防護柵の設置や歩道の新設など、課題に応じた適切な対策を実施します。

京都府では、誰もが安心して安全に利用できる道路環境を確保するため、歩行空間の確保、バリアフリー対策、自動車の速度抑制対策などに取り組んでまいりました。近年、賑わいの創出など、人が集まる空間としてのニーズが高まり、オープンペースの新たな利活用による「歩きたくなる健康まちづくりプロジェクト」について、市町村との調整を進めています。

道路の無電柱化コンナン

無電柱化は「安全・円滑な歩行空間の確保」や「良好な景観の創出」の観点から、大変有効な事業ですが、多くの事業費の確保や沿道住民の協力といった課題があります。府では、令和元年12月に策定した「京都府無電柱化推進計画」で、令和6年度までに10km以上の無電柱化整備着手を目標に、緊急輸送道路、駅周辺等重点的にバリアフリーを進める道路、観光地の道路などから整備路線を選定。現在JR宇治駅前の府道宇治淀線、宮津市文珠地区の府道天の橋立線など、府民に事業効果を感じていただけているところから進めています。今後とも、市町村のまちづくり計画との整合を図り、安全性の向上とともに、賑わいや景観形成に寄与する、人によさしい歩行空間の整備を推進してまいります。



度は第3期生を募集。研修終了後の支援も含め伴走型の切れ目のない繋がりを期待したい。

- 淀高原牧場（京都府農林水産技術センター畜産センター）**・優良和牛の改良・育成。京都産和牛のブランド力を一層強化し、和牛農家の収益性を向上することで農家の増産意欲を高める取り組みを進めている。和牛の改良と交配で、優良子牛、受精卵の増産に努め、農家経営への支援を強化する。
- ・新たな乳牛の預託事業では、北海道産の初任牛の価格高騰で後継乳牛確保の需要が高まり、公共育成機能を持つ淀高原牧場と全農京都府本部が連携し、リレー方式で乳用後継牛の育成を行うようになった。
- 京都府立海洋高等学校**
 - ・京都府農林水産技術センター海洋センターで、天然のアサリ稚貝を捕獲して舞鶴湾や久美浜湾で養殖し、大型アサリの生産に取り組んでいる。
 - ・定置網が急潮で破損するため、急潮情報を発信。
 - ・アカモク京都式養殖で生産量増加に努めている。
 - ・休耕田を活用して、絶滅危惧種の天然ホンモノを養殖。休耕田の活用と地元住民の協力を得る中で、新たな産業や雇用の創出を地域の活性化につなげる。海洋高校の生徒の協力なしでは取り組めない。

自民党京都府議会議員団 政務調査会で府管内調査

コロナ禍で1年7か月ほど管内外調査が実施できず、令和3年10月以降、新規陽性者数が低く抑えられていたこともあり、実施されました。

- 京都府農林水産技術センター畜産センター**・肉質の良い在来種100%の「新京地どり」は発育がよく、飼料代などのコスト削減を実現し、これまでよりも飼いやすくなった。ブランド力強化に向けて取組を進めている。
- ・今年も全国で高病原性鳥インフルエンザが発生。秋から冬に渡り鳥が運んだウイルスを、ネズミ、人の靴、トラックのタイヤなどが養鶏場に持ち込むため、防疫技術の開発に力を入れている。
- ・畜産人材育成研修制度を開講。後継者不足に悩む畜産農家も多く、人材育成研修をはじめ、来年

